

《インドネシア》第2期ジョコウィ政権：閣僚の略歴 調整大臣・国家官房長官・各省大臣・閣僚待遇者

《「インドネシア前進内閣」発足》

[2019年10月23日] 閣僚人事発表・閣僚就任宣誓式(正式発足)

《閣僚構成》

●調整大臣4人 ◎国家官房長官1人 ■各省大臣29人 □閣僚待遇者4人＝計38人

《閣僚の政治的背景》

[政党関係者] 闘争民主党(PDI-P)4人/ゴルカル党(Golkar)3人/グリーンドラ(党(Gerindra)2人/ナスデム(国民民主)党(Nasdem)3人/民族覚醒党(PKB)4人/開発統一党(PPP)1人＝計17人

[専門家・元官僚・元軍人・学者など] 21人

[性別] 男性33人・女性5人

大統領 President

ジョコ・ウィドド Joko Widodo



*通称ジョコウィ(Jokowi)。4月17日に実施された大統領選で再選。10月20日、2期目に正式就任(任期：－2024年)。

[年齢] 58歳(1961年6月21日生まれ)【生地】中ジャワ州ソロ(スラカルタ)【学歴】ガジャマダ大学(UGM)林業学部卒(工学士)【経歴】家具輸出業/[2005年]スラカルタ市長/[12年]ジャカルタ特別州知事/[14年10月20日]大統領(1期目：－19年)。
[既出データ] AMR(14/05/01)

副大統領 Vice President

マアルフ・アミン Ma'ruf Amin



*大統領選でジョコウィ氏とペアの副大統領に初当選。10月20日、正式就任(任期：－2024年)。インドネシア最大(＝世界最大)のイスラム信徒団体「ナフダトゥル・ウラマ(NU)」の元総裁。イスラム聖職者団体「インドネシア・ウラマ(イスラム導師)評議会(MUI)」議長(休職中)。

[年齢] 76歳(1943年8月1日生まれ)【生地】(日本軍占領下)西ジャワ・タンゲラン【学歴】イブヌ・カルドウン大学卒【経歴】イスラム導師・イスラム学校教師/国会(DPR)議員(PKB)/[1999年](ワヒド)大統領顧問(－01年)/[2007年](ユドヨノ)大統領諮問委員会委員/[15年]NU総裁(－18年)、MUI議長(任期：－20年)/[17年6月](第1期ジョコウィ政権)「パンチャシラ思想推進本部(UKP-PIP)」諮問委員。[詳細データ] AMR(19/03/15)

調整相(Coordinating Ministers)

●調整相(政治・法務・治安)

Coordinating Minister for Political, Legal and Security Affairs

マフド M D (教授・博士) Prof. Dr. Mohammad Mahfud MD



*憲法学者で元憲法裁判所長官。ワヒド政権で国防相を務めたことがある。

[年齢] 62歳(1957年5月13日生まれ)【生地】東ジャワ州(マドゥラ島)サンパン【人種】マドゥラ族【学歴】ガジャマダ大学(UGM)卒(法学士)/同大学法学修士/同大学法学博士【経歴】インドネシア・イスラム大学(UIN)教授(憲法学)(一現在)/

[2000年8月](ワヒド政権)国防相/[01年7月]法務・人権相(3日間のみ)/[04年]国会(DPR)議員(PKB)/[08年8月]憲法裁判所第2代長官(－01年7月)【歴任】イスラム学生連盟同窓会(KAHMI)会長。[既出データ] AMR(00/10/01)

●調整相(経済) Coordinating Minister for the Economy

アイルランガ・ハルタルト Airlangga Hartarto



*第1期ジョコウィ政権の工業相から調整相に「昇格」。与党第2党「ゴルカル党」の総裁。

[年齢] 57歳(1962年10月1日生まれ)【生地】東ジャワ州スラバヤ【政党】ゴルカル党(Golkar)：総裁【学歴】ガジャマダ大学(UGM)工学部卒(機械工学)/(豪)メルボルン大学技術経営学修士(MOT)/(豪)モナシュ大学経営学修士(MBA)【経歴】実業家(企業数社の代表取締役を歴任)/[2004年]国会(DPR)議員(3期)/[16年7月](第1期ジョコウィ政権第3次内閣)工業相(－19年10月)【歴任】ASEAN技術者協会連合(AFEO)事務局長/インドネシア工学会(PII)会長/インドネシア上場企業協会会長。[詳細データ] AMR(16/09/15)

●調整相(海事・投資)

Coordinating Minister for Maritime Affairs and Investment

ルフット・パンジャイタン(退役大将) Gen.(ret.) Luhut Binsar Pandjaitan



*調整相に再任されるとともに、前職(海事担当調整相)にはなかった投資関連官庁を新たに所管することになった。国軍幹部、外交官、閣僚、実業家、社会運動家としての経歴と経験を持ち、国軍や政界から一目置かれる「長老的存在」。

[年齢] 72歳(1947年9月28日生まれ)【生地】北スマトラ州トバ・サモシール【政党】ゴルカル党(Golkar)【人種】バタック族【宗教】キリスト教(プロテスタント)【学歴】国軍士官学校(Akabri)卒(首席)/(米)ジョージ・ワシントン大学行政修士(MPB)【経歴】陸軍将校/陸軍対テロ特殊部隊創設者・初代隊長(東ジャワ州)マディウン駐屯地司令官/[97年]陸軍訓練・教育・教義司令官/[99年](ハビビ政権)駐シンガポール大使/[2000年4月](ワヒド政権)貿易産業相(－01年8月)/[14年12月](ジョコウィ)大統領首席補佐官/[15年8月](第1期ジョコ政権第2次内閣)政治・法務・治安担当調整相/[16年7月](同第3次内閣)海事担当調整相(－19年10月)【歴任】インドネシア空手道連盟会長。[詳細データ] AMR(16/09/15)

●調整相(人間開発・文化)

Coordinating Minister for Human Development and Culture

ムハジル・エフェンディ(教授・博士) Prof. Dr. Muhadjir Effendy

*第1期ジョコウィ政権の教育・文化相から調整相に「昇格」。インドネシア第2のイスラム信徒団体「ムハマディヤ」の教育担当幹部で、同団体系ムハマディヤ大学(東ジャワ州マラン)の元学長。

[年齢] 63歳(1956年7月29日生まれ)【生地】東ジャワ州マディウン【学歴】(マラン)国立教育大学(IKIP)卒/ガジャマダ大学(UGM)行政修士/[2008年](スラバヤ)アイルランガ大学博士(軍事社会学)【経歴】教育学者・大学講師/[96年]ムハマディヤ大学(UMM)副学長/[2000年]UMM学長(教授)(3期：－16年2月)/[16年7月](第1期ジョコウィ政権第3次内閣)教育・文化相(－19年10月)。[詳細データ] AMR(16/10/01)

◎国家官房長官 State Secretary

プラティクノ(博士) Dr. Pratikno

*第1期ジョコウィ政権発足時から現職(再任)。

【年齢】57歳(1962年2月13日生まれ)【生地】東ジャワ州ボジョネゴロ【学歴】ガジャマダ大学(UGM)卒(行政学)/(英)バーミンガム大学修士(開発行政学)/(豪)ファインダーズ大学博士(アジア研究)【経歴】大学講師/UGM社会政治学部長/[2012年7月] UGM学長/[14年10月] (第1期ジョコウィ政権)国家官房長官(一現在)。

各省大臣 (Ministers)

■国家開発計画相/国家開発計画庁(Bappenas)長官(大臣)

Minister of National Development Planning/Head of National Development Planning Agency

スハルソ・モノアルファ Suharso Monoarfa

*与党第6党「開発統一党」の総裁。第2期ユドヨノ政権で国民住宅担当国務相を務めた。

【年齢】65歳(1954年10月31日生まれ)【生地】西ヌサトゥンガラ州マタラム【政党】開発統一党(PPP):総裁【人種】ロンボク人【学歴】バンドン工科大学(ITB)鉱業・地質学部卒/(豪)カーティン工科大学博士候補(Ph.D. candidate)【経歴】実業家/「ゼブラ・ヌサンタラ」、「ステディ・セイフ」社各代表取締役/[2004年]国会(DPR)議員(2期)/[09年10月] (第1期ユドヨノ政権)国民住宅担当国務相(一11年10月)/[15年1月] (第1期ジョコウィ政権)大統領諮問委員。[既出データ] AMR(09/12/01)

■内相 Minister of Home Affairs

ティト・カルナフィアン(退役警察大将・博士)

Pol.Gen.(Ret.) Dr.Tito Karnavian



*前国家警察(POLRI)長官。国家警察対テロ特殊部隊隊長、国家対テロ庁(BNPT)長官などを歴任。シンガポールのナンヤン工科大学で博士号(テロリズム・イスラム過激派研究)を取得し、国際的なテロ対策専門家として知られる。

【年齢】55歳(1964年10月26日生まれ)【生地】南スマトラ州パレンバン【学歴】インドネシア国家警察士官学校(Akpol)卒/(英)エクセター大学修士(警察学)/(ニュージーランド)空軍指揮幕僚学校修了/(シンガポール)ナンヤン工科大学博士【経歴】国家警察将校/[2009年]国家警察対テロ特殊部隊(Densus 88)隊長/[12年9月]パプア州警察本部長/[15年6月]ジャカルタ首都圏警察本部長/[16年3月]国家対テロ庁(BNPT)長官、[7月]国家警察長官(一19年10月)。[詳細データ] AMR(19/07/15)

■外相 Minister of Foreign Affairs

ルトノ・マルスディ Letno Lestari Priansari Marsudi

*第1期ジョコウィ政権発足時にインドネシア初の女性外相に抜きさされ、第2期政権でも再任された。政権の外交政策の継続性を維持する。

【年齢】56歳(1962年11月27日生まれ)【生地】中ジャワ州スマラン【学歴】ガジャマダ大学(UGM)卒(国際関係論)/(オランダ)ハーグ応用科学大学修士(国際・欧州法)/(ハーグ)クリンゲンドール国際関係研究所外交官研修課程修了【経歴】外務官僚/[2001年]外務省欧州・アメリカ総局部長/[03年]西ヨーロッパ局長/[05年]駐ノルウェー大使/[09年]欧州・アメリカ総局部長/[12年]駐オランダ大使/[14年10月] (第1期ジョコウィ政権)外相。[詳細データ] AMR(18/07/01)

■国防相 Defense Minister

ブラボウォ・スピヤント(退役陸軍中將) Lt. Gen.(Ret.) Prabowo Subianto

*第2期ジョコウィ政権の組閣における「サプライズ人事」。第1期ジョコウィ政権下では最大野党だった「グリンドラ党」(現与党第3党)の総裁。今年4月の大統領選挙でジョコウィ候補(現職)との一騎打ちに敗れ



たが、その後の連立工作でジョコウィ氏の求めに応じて入閣した。元陸軍戦略予備軍(Kostrad)司令官。故スハルト元大統領の元娘婿。

【年齢】68歳(1951年10月17日生まれ)【生地】ジャカルタ【政党】グリンドラ党(Gerindra):総裁【人種】ジャワ人【学歴】(英)アメリカンスクール卒/インドネシア国軍士官学校(Akabri)卒(総代)【経歴】陸軍将校/[1983年]陸軍特殊部隊(Kopassus)東ティモール派遣部隊隊長(一88年)/[94年]Kopassus副司令官/[95年]同司令官/[98年3月]陸軍戦略予備軍(Kostrad)司令官、[5月]国軍参謀学校長、[8月]「反政府活動家の殺害などを指揮した」罪に問われ、軍事法廷で軍籍剥奪。のちにヨルダン、ドイツ、タイ(バンコク)で「亡命」生活/[2000年5月]帰国、「ヌサンタラ・エネルギ(Nusantara Energy)」グループ創設/[08年7月]Gerindraを創設(ゴルカル党から正式離脱)し、諮問会議議長に就任/[09年7月]大統領選挙に(メガワティ候補とペアの)副大統領候補として立候補するが落選/[14年7月]大統領選挙に立候補するがジョコウィ候補に敗北、[9月]Grendra総裁(一現在)/[19年4月]大統領選挙で現職のジョコウィ候補に敗北。[既出データ] AMR(14/05/01)

■法務・人権相 Minister of Justice and Human Rights

ヤソナ・ラオリ(博士) Dr.Yasonna Hamonangan Laoly

*第1期ジョコウィ政権発足時に現職に就任しており再任(但し、正確には4月の総選挙で議席を得た国会(DPR)議員に就任するために9月27日に一旦、法務・人権相を辞任している)。

【年齢】66歳(1953年5月27日生まれ)【生地】北スマトラ州ソルカム【政党】闘争民主党(PDI-P)【人種】ニアス族・バタック族(混血)【宗教】キリスト教【学歴】スマトラ・ウタラ大学卒(法学士)/(米)バージニア・コモンウェルス大学法学修士/(米)ノースカロライナ州立大学法学博士【経歴】弁護士・政治家/(メダン)HKBPノメンセン大学法学部講師/奨学金を得て米国留学/[1999年]北スマトラ州議会議員/[2004年]国民協議会(MPR)議員(PDP-I)/[14年10月] (第1期ジョコウィ政権)法務・人権相。

■財務相 Minister of Finance

スリ・ムルヤニ・インドラワティ(博士) Dr.Sri Mulyani Indrawati

*第1期ジョコウィ政権下の2016年7月に実施された2回目の内閣改造で現職(財務相)に就任し、第2期ジョコウィ政権でも再任された(第1期ユドヨノ政権で財務相を務めた後に世銀専務理事・最高執行責任者(COO)に転出した)が、ジョコウィ大統領に懇願されて6年ぶりに財務相への復帰を受け入れたという経緯がある。日本を含めた先進諸国の政治家・経済人からインドネシアを代表するエコノミストとして評価されている。

【年齢】57歳(1962年8月26日生まれ)【生地】ランブン州タンジュンカラン【人種】ジャワ人【学歴】インドネシア大学(UI)経済学部卒/米イリノイ大学経済学修士/同大学経済学博士【経歴】UI経済学部助教授(のち同教授)/米イリノイ大学助教授/[1999年] (ワヒド政権)国家経済評議会委員/[2001年]米国際開発局(USAID)コンサルタント(アトランタ)/[02年]国際通貨基金(IMF)東アジア代表理事/[04年10月] (第1期ユドヨノ政権)国家開発計画担当国務相兼国家開発計画庁(Bappenas)長官/[05年12月]財務相(一10年5月)/[08年6月]経済担当調整相(兼任)/[09年10月] (第2期ユドヨノ政権)財務相(再任)/[10年6月]世界銀行(WB)専務理事・最高執行責任者(COO)/[16年7月] (ジョコウィ政権)第3次内閣財務相。[詳細データ] AMR(17/03/15)

【※第2期ジョコウィ政権の残りの閣僚27人の略歴は次号の当欄で紹介する予定】

(アジア・リンケージ 勝田 悟)